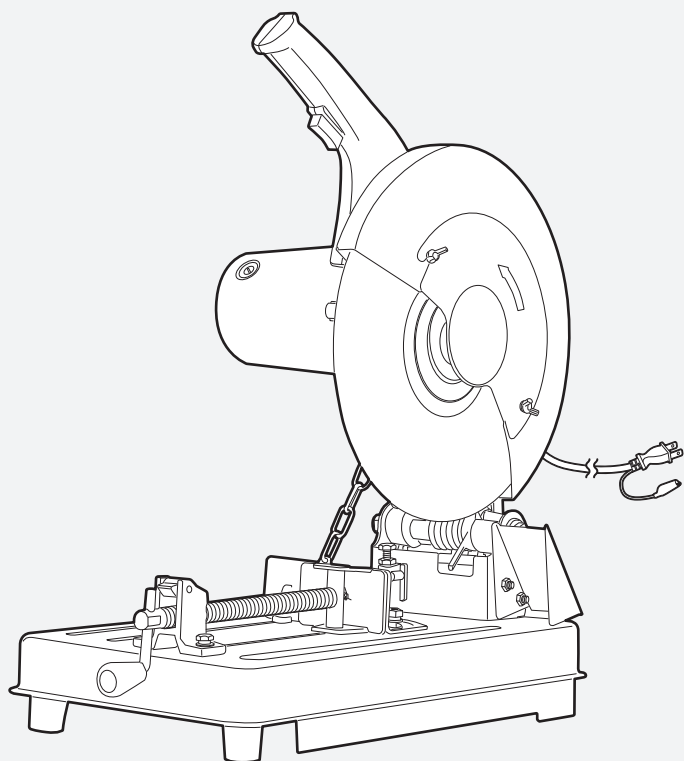


高速切断機 305mm CS-30B



取扱説明書

ご使用前に本紙最終ページ「保証書」を必ずお読みになり、内容をご確認・ご了承ください。

また、取扱説明書の内容を十分理解したうえで使用し、お手元に大切に保管してください。

目次

お使いになる前に 1

安全にお使いいただくために

電動工具を安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために

本製品について 8

用途

各部の名称・セット内容

仕様

使用前の準備 10

作業を行う前の確認

試運転について

使い方 12

本体の移動方法

磁石の交換方法

各部の調節

操作方法

作業方法

お手入れ 22

お手入れと保管方法

お買上げの後に 27

保証書

お使いになる前に

安全にお使いいただくために

- 必ず取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。取扱いに不慣れな人や正しい操作のできない人はお使いにならないでください。
- 本製品を正しく安全にお使いいただき、ご自身や周囲に危険が及ぶ可能性を防止するために、下記のように『警告』・『注意』・『注』の3種に区分

しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってお使いください。

また、本製品は家庭用として開発されています。家庭用としてお使いください。

- 『注意』に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。

 警告	人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容
 注意	人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容
 注	本製品や付属品の取扱いなどに関する重要な注意事項

電動工具を安全にお使いいただくために

※本項目は共通項目ですので製品により内容が一致しない場合があります。

警告

1. 作業場所はいつもきれいに保ってください。

- 作業場所はいつも整理・整頓し、きれいに保ってください。
また、作業の妨げになる物は取り除いてください。

2. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- 作業場は十分明るくしてください。
- ガソリン・シンナー・塗料・接着剤等引火性の液体や可燃性の物、ガスのある場所では使用しないでください。(爆発・火災の原因)
- 濡れた場所や湿気の多い場所・雨中では使用しないでください。(感電・故障の原因)

3. お子様や作業員以外を近づけないでください。

- 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。

4. 作業に適した服装で作業してください。

- 作業をするときは保護めがねを着用してください。
- 作業に適した服装(すそまりの良い長袖・長ズボン)で作業してください。だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は回転部に巻き込まれるおそれがあるので着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋・滑り止めの付いた履物の着用をお勧めします。軍手など巻き込まれるおそれのある素材の手袋は着用しないでください。

- 長い髪は帽子などで覆ってください。
- 粉じんなどが多く発生する作業では保護マスクを着用してください。
- 作業音の大きい場合は、耳栓・耳覆い(イヤマフ)等防音保護具を着用してください。

5. 損傷した部品がないか確認してください。

- 製品開封後は梱包内容を確認し、輸送による破損・緩み・ひび割れ等本製品や付属品に異常がないことを確認してください。
- 作業前には必ず試運転を行い、本製品の破損・ゆがみ・異常音等がないことを確認してから作業してください。
- 本製品を誤って落としたりぶつけたときは、破損や亀裂がないことを確認してください。

6. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書に記載されている付属品やアタッチメント以外の物は使用しないでください。
また、取扱説明書に従って正しく取り付けてください。(部品脱落や故障によるけがの原因)

7. 調整や点検に用いた工具は必ず取り外してください。

- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、調整・取付けに用いた工具が取り外されていることを確認してください。

8. 作業に合った電動工具を使用してください。

- 小型の電動工具やアタッチメントは大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。(事故・故障の原因)

9. 無理な使用をしないでください。

- 安全に能率良く作業するため、電動工具の能力に合わせて作業してください。
- モーターがロックしたり、回転が極端に落ちるような使い方をしないでください。(モーター焼損の原因)
- 足元の不安定な場所や無理な姿勢で使用しないでください。

10. 感電に注意してください。

- 濡れた手での取扱いや電源プラグの抜き差しはしないでください。(感電の原因)
- 本製品の使用中に、身体をアース(接地)されている物(エアコンの室外機や金属製の支柱等)に接触させないでください。(感電の原因)

11. 通気孔をふさがないでください。

- 通気孔は本体を冷やすために必要ですので、布などで覆ってふさがないでください。(火災・故障の原因)

お使いになる前に(続き)

12. 使用電源は必ず家庭用 AC100V電源を使用してください。

- 200V用電源に接続して使用しないでください。(故障・破損の原因)
- 発電機やインバータ電源・DC電源・仮設電源での使用はしないでください。(故障・火災の原因)

13. コードなどの取扱いに注意してください。

- 使用する前に、必ず電源コード・電源プラグを点検してください。無理に引っ張ったり挟んだりしないでください。また、コードを高熱の物・油や角のとがった場所に近づけないでください。(火災・感電・故障の原因)
破損したときはお買上げの販売店に修理を依頼してください。
- コンセントから電源プラグを抜き差しするときは、必ず電源プラグを持って抜き差ししてください。(コード破損の原因)
- 作業員以外は本製品やコードに触れさせないでください。
- 感電防止のため、漏電遮断器の設置をお勧めします。

14. 屋外のコンセントを使用する場合、電源プラグは必ず防雨型コンセントに差し込んでください。(火災・故障の原因)

15. 不意な始動は避けてください。

- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
- 電動工具を移動する場合や付属品を交換するときは、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、スイッチに指をかけて運ばないでください。(けがの原因)
- 使用しない場合・作動すると危険な場合・停電のときは電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 本体作動部には触れないでください。

- 作動中回転部やその付近に手や身体、顔を近づけないでください。(けがの原因)

17. 作動している状態のまま放置しないでください。

18. 油断せず、十分注意して使用してください。

- 本製品を使用する場合は、取扱方法・作業の仕方・周りの状況等に十分注意して慎重に使用してください。
- 疲れていたり、アルコール又は医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は使用しないでください。
- 長時間の連続作業は疲労による事故の原因となります。

19. やけどに注意してください。

- 使用直後は、本体(モーター)や加工物が熱くなっていることがあります。冷えるまで直接手肌に触れないようにしてください。

20.定期的に点検してください。

- 電源プラグや電動工具本体の通気孔にほこりや粉じん等が付着している場合には、よく取り除いてください。(火災・故障の原因)

21.使用しないときはきちんと保管してください。

- 使用しないときは、直射日光の当たらない・風通しの良い・乾燥した場所で、お子様の手の届かない安全な場所や、鍵のかかる場所にきちんと保管してください。
- 電動工具本体を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所(使用中の暖房器具の付近・車中・直射日光下)に保管しないでください。

22.分解・改造をしないでください。

- 本製品にはいかなる改造も加えないでください。

23.ご自分で修理しないでください。

- 故障・異常時は直ちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて本製品の使用を中止し、お買上げの販売店にお申し付けください。又は(株)高儀「お客様相談窓口」(ホームページ含む)に相談してください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると事故やけがの原因となります。

**この取扱説明書は大切に保管してください。
また、本製品を貸し出す場合は、この取扱説明書も一緒に渡してください。**

注意

1. 延長コードを使用する場合

- 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、又はキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
- 市販の延長コードを使用する場合は、定格電流が15A以上の物を準備してください。(最大20mまで)
- ドラム式の延長コードを使用する場合は、発熱による電圧降下や火災事故を防止するため、コードはすべて引き出して使用してください。
- 使用する延長コードの取扱説明書・注意事項等をよく読み正しく使用してください。

2. 本製品は短時間の使用を前提に設計されています。

- 長時間の連続使用はしないでください。(故障・破損の原因)

3. 騒音に注意してください。

- 法令及び各都道府県等の条例で定められた騒音防止規制を守り、周辺に迷惑をかけないよう状況に応じて遮音壁を設けるなどして規制値以下で使用してください。

4. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。

- 高所作業のときにコードを引っかけたりした場合、事故・けがの原因となります。

5. こまめにお手入れしてください。

- 安全に効率よく作業するために刃物類は常にお手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 本製品は定期的に点検し、損傷している場合はお買上げの販売店に修理をお申し付けください。又は(株)高儀「お客様相談窓口」(ホームページ含む)に相談してください。
- 本製品に油やグリースが付着した場合は、柔らかい布でから拭きしてください。
- 汚れの著しい場合は、薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。
- ワックス・アルコール類・シンナー・ベンジン等は使用しないでください。(故障・破損の原因)

6. その他

- 火のそばや閉め切った車内・直射日光の当たる場所・高温になる場所には、放置・保管しないでください。変形・変色・劣化のおそれがあります。

本製品を安全にお使いいただくために

警告

1. 使用電源は必ず銘板に表示してある電圧(家庭用AC100V)で使用してください。
2. 感電防止のため、アースクリップを必ず接地してください。
 - 電源は必ずアース端子のついているものを使用してください。
 - ガス管への接地は絶対にしないでください。
 - アース端子のない場合やアースの埋め込みなどは専門の電気工事店に相談してください。
3. 必ず指定の切断砥石を使用してください。
 - 木工用刃を取り付けての木材切断はできません。
4. ホイルカバーなどの安全保護装置を必ず取り付けて使用してください。
5. 砥石の側面は使用しないでください。
6. 砥石にひびや割れが無いことを確認してから使用してください。
7. ガソリン・ガス・塗料・接着剤等の引火・爆発のおそれがある場所では絶対に使用しないでください。
 - 作業中切削粉が火花となって飛散しますので、引火・爆発のおそれがある物や傷つきやすい物は安全な場所に遠ざけてください。また、火花を直接手肌に当てないでください。
8. 水や、研削液等を使用しないでください。
9. 使用中は砥石に身体を近づけないでください。
10. この取扱説明書に記載されている用途、又は能力以上の作業には使用しないでください。
 - 砥石を交換する際は取付け面、シャフト、フランジ等の切削粉を必ず拭き取ってください。切削粉が原因で砥石の締め付けが不十分になる場合があります。
 - 必ず付属の工具で正しく締め付けてください。
11. 使用中、本体の調子が悪かったり異常音がしたときは、直ちにスイッチ引き金から手を離して使用を中止し、お買上げの販売店にお申し付けください。又は(株)高儀「お客様相談窓口」(ホームページ含む)に相談してください。
12. 体調の優れないときや作業に疲れたときは使用を控えてください。また、炎天下の作業はできるだけ避けてください。作業をする場合は暑さ対策をし、体調に十分注意してください。
13. 誤って落したりぶつけたときは、本体などに破損や亀裂・変形がないことをよく点検してください。(けがの原因)
14. スイッチ固定ボタンは必要なとき以外は必ず解除してください。
15. 作業は砥石の回転が完全に上昇し、安定したことを確認してから行ってください。
16. ベースに固定できない小さなものの切断は危険ですので、しないでください。
17. [事業者の方へ]
 - 砥石の交換・試運転は、法・規則で定める特別教育を受けた人が行ってください。

お使いになる前に(続き)

注 意

1. 必ず安定した場所で使用してください。
2. 付属品は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
3. 切断砥石を取り付けた後初めて使用する際は、必ず砥石の正面位置から一時身体を避けてください。
4. 必ず試運転をしてください。
5. 切断砥石を無理に加工物に押し付けないでください。
6. 指定以外の刃物(丸のこ刃・チップソー等)を取り付けての使用はしないでください。
7. 本体は常温(0～40℃)で使用してください。
8. 本体に水をかけての丸洗いはしないでください。
9. 切断砥石は水分や湿気のない乾燥した場所で保管してください。

注

1. モーターの特性上、使用中に通気孔内部から火花が見えることがありますが故障ではありません。

本製品について

用 途

◆鉄パイプ・アングル材・軟鋼材の切断に

各部の名称・セット内容

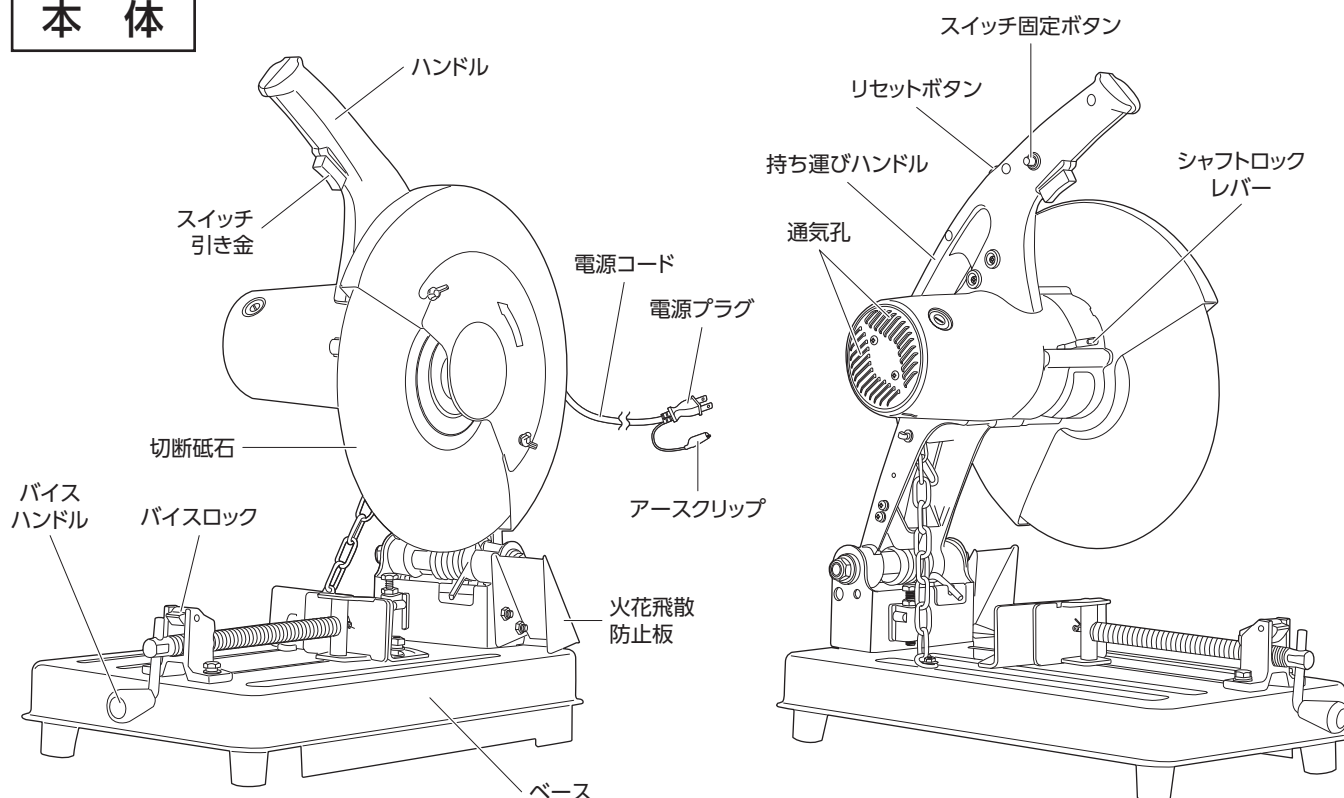
要確認

初めて梱包を開封したときは、下記の内容について確認してください。

- 付属品が全て揃っているか
- 破損した箇所はないか

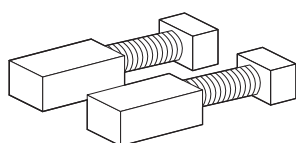
万一、不具合な点がありましたら、お買上げの販売店又は(株)高儀までご連絡ください。

本 体



高速切断機本体×1

付属品



交換用カーボンブラシ×2

※交換時は必ず左右2個同時に交換してください。



メガネレンチ×1

本製品について(続き)

仕 様

本体(CS-30B)

定 格 電 圧	AC100V
定 格 周 波 数	50/60Hz
定 格 電 流	14A
定格消費電力	1,300W
無負荷回転数	約3,800min ⁻¹
砥石周速度	約60m/s(約3,600m/min)
バイスつかみ幅	1段目:約0~160mm 2段目:約30~195mm
最大切断幅(90°)	丸パイプ:約φ90mm 角パイプ:約85×85mm L型鋼:約70×70mm
角度切り範囲	右0~45°
本 体 サ イ ズ	約長さ520×幅280×高さ610(mm)
コ ー ド 長	約1.8m
質 量	約14kg(切断砥石含む)
定 格 時 間	30分

付属切断砥石

砥石サイズ	外径φ305×厚さ2.8×穴径φ25.4mm
粒度・硬度	33Q
材 質	A材
最高回転数	4,000min ⁻¹
最高周速度	70m/s(約4,200m/min)

使用前の準備

作業を行う前の確認

1. 使用電源を確認してください。

⚠ 警告

- 使用電源は必ず本製品に表示されている電圧(家庭用AC100V)で使用してください。
- 発電機やインバーター電源・DC電源・仮設電源からの電源供給はしないでください。

2. アース(接地)されているか確認してください。

⚠ 注意

- 電源プラグをコンセントに差し込む前に本製品のスイッチが切れていることを確認してからアースクリップを接地してください。

3. 電源プラグをコンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。

⚠ 警告

- 不意に本体が起動すると危険な場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

4. 砥石を確認してください。

- 砥石にひび・割れや面ぶれ等の異常が無いことを確認してから使用してください。
- 砥石の取付けを確認してください。

⚠ 警告

- 砥石に異常があると砥石が破損し、けがの原因となります。
- 砥石の取付けが十分でないと、思わぬ事故の原因となります。必ず取扱説明書に従って確実に取付けてあることを確認してください。
- 砥石軸を付属のメガネレンチで切断する砥石の回転方向に回して、砥石に振れがないか確認してください。

5. ホイルカバー・火花飛散防止板がきちんと取り付けられているか確認してください。

- 切断時の火花飛散防止、砥石が破損した際の飛散から身を守るためのものですので絶対に外して使用しないでください。

⚠ 警告

- ホイルカバー・火花飛散防止板は必ずきちんと取り付けて使用してください。

6. 調整や取付けに使用した工具やシャフトロックレバーが完全に外れているか確認してください。

⚠ 警告

- 工具が取り外されていなかったり、シャフトロックレバーが外れていないと故障や思わぬ事故の原因となります。

使用前の準備(続き)

7.使用前に必ず試運転を行ってください。

⚠ 警告

- 電源プラグをコンセントに差し込むときは、スイッチが切れていることを確認してください。
- スイッチを入れるときは、砥石が加工物などに接触していないことを確認してください。
- 新しい砥石を取り付け、初めてスイッチを入れるときは、人のいない方向に砥石正面位置を向けて砥石に異常が無いことを確認してください。

8.騒音に注意してください。

- 法令及び各都道府県等の条例で定められた騒音防止規制を守り、周辺に迷惑をかけないよう状況に応じて遮音壁を設けるなどして規制値以下で使用してください。

試運転について

- 砥石を交換したとき………3分以上
- その日の作業始めのとき…1分以上

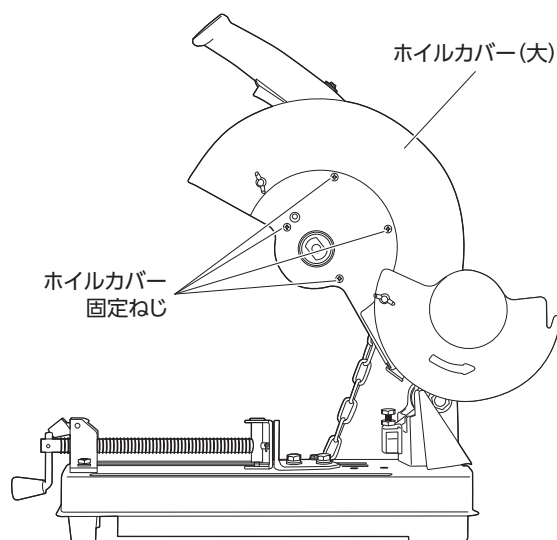
⚠ 注意

- 新しい砥石を取付け後、初めてスイッチを入れるときは、砥石の正面位置から必ず一時身体を避けてください。

⚠ 注

- 切断砥石はあらかじめ工場で取り付けていますが、危険を防止するために必ず取付け状態・緩み・ひび割れ・破損がないか確認してください。
- ホイルカバーが緩んだ状態で使用しますと、非常に危険です。使用する前に必ず緩みがないことを確認してください。

ホイルカバー(大)が緩んでいましたら、P13～15「砥石の交換方法」を参照に締め付けボルトを外し、ワッシャー・フランジ・砥石を外して、ホイルカバー(大)内側のホイルカバー固定ねじ4か所を締め直してください。



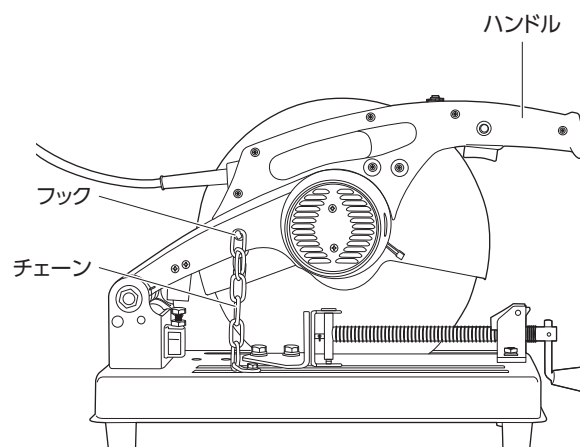
使い方

本体の移動方法

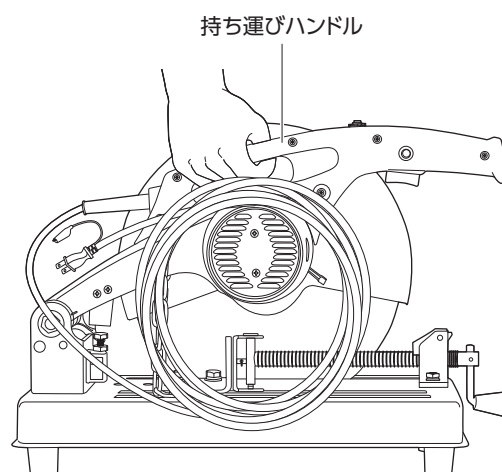
⚠ 警告

- 本体を移動する場合は、必ずスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使用直後はモーターが熱を持っている場合があります。温度が下がってから移動してください。
- 本製品は重量物ですので、運搬・設置するときは本製品に手や身体等を挟まないよう十分注意してください。

1. ハンドルを下げた状態でチェーンをフックに引っ掛けてください。



2. 持ち運びハンドルを持って移動してください。



使い方(続き)

砥石の交換方法

⚠ 警告

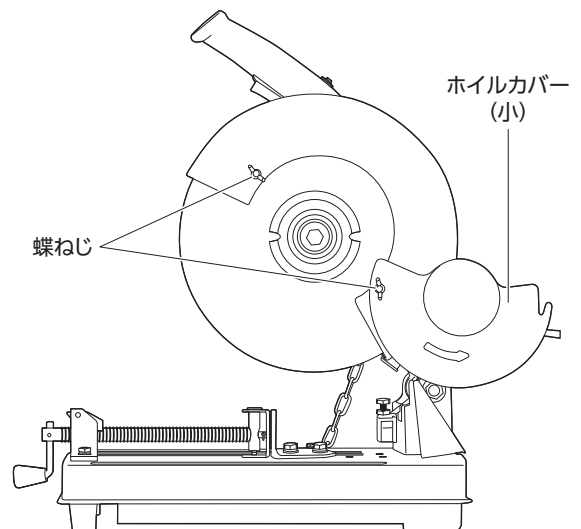
- 砥石の交換をする際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 砥石の交換をする際は、取付け部分などに付着した切削粉などをきちんと拭き取ってください。切削粉などが原因で砥石を取り付ける締め付けが、不十分になる場合があります。
- 砥石は必ず指定の切断砥石を使用してください。

注

- チェーンをフックにかけ可動部を固定している場合は、ハンドルを下へ押しとめているチェーンを、フックからはずしてください。

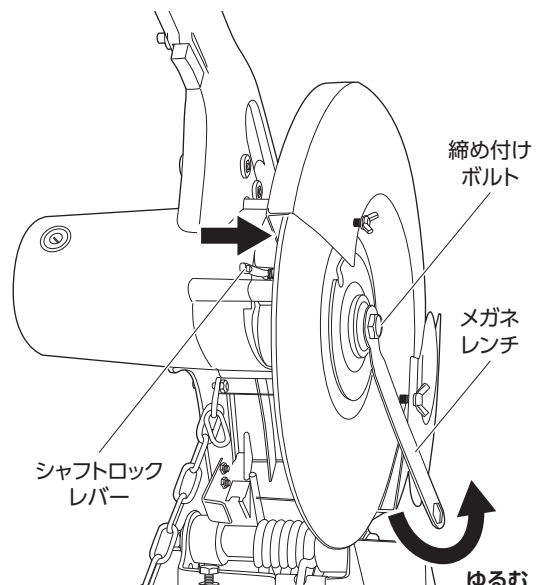
砥石の取り外し

1. 蝶ねじ(2か所)を緩め、ホイルカバー(小)を後方にスライドさせてください。



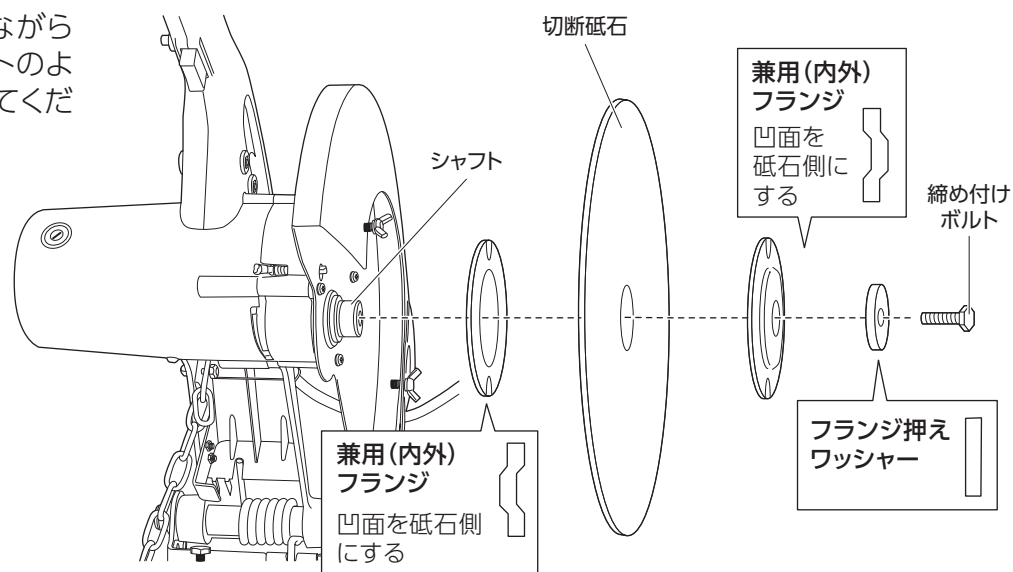
2. シャフトロックレバーを押しながら付属のメガネレンチで締め付けボルトを回してシャフトを固定し、緩めて砥石を外してください。

※シャフトロックレバーは固定される位置が決まっています。シャフトロックレバーを押しながらメガネレンチで締め付けボルトを回していくと「カチッ」とシャフトが固定される位置があります。



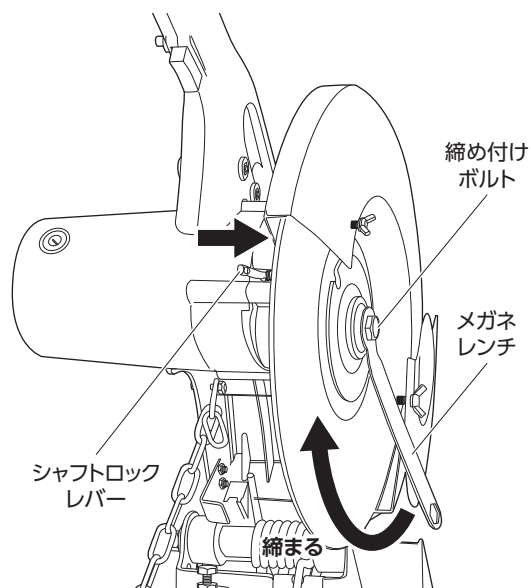
切断砥石の取付け方法

1. 取付け向きに注意しながらシャフトへ右図イラストのようにセットし、仮締めしてください。



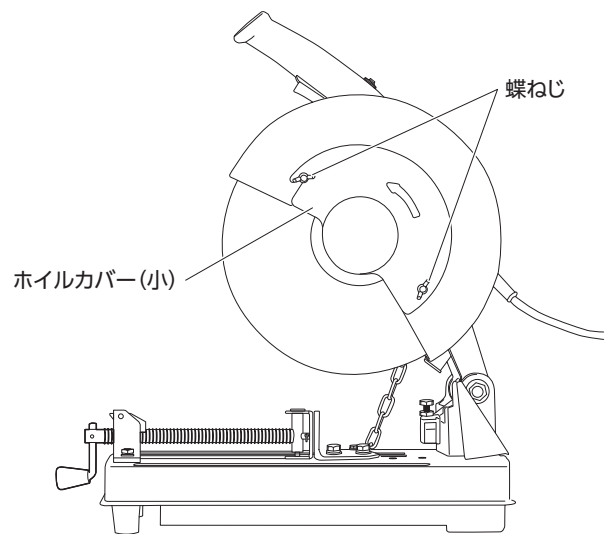
2. シャフトロックレバーを押しながら、付属のメガネレンチで締まる方向に締め付けボルトを回してシャフトを固定し、確実に締めてください。

※シャフトロックレバーは固定される位置が決まっています。シャフトロックレバーを押しながらメガネレンチで締め付けボルトを回していくと「カチッ」とシャフトが固定される位置があります。



使い方(続き)

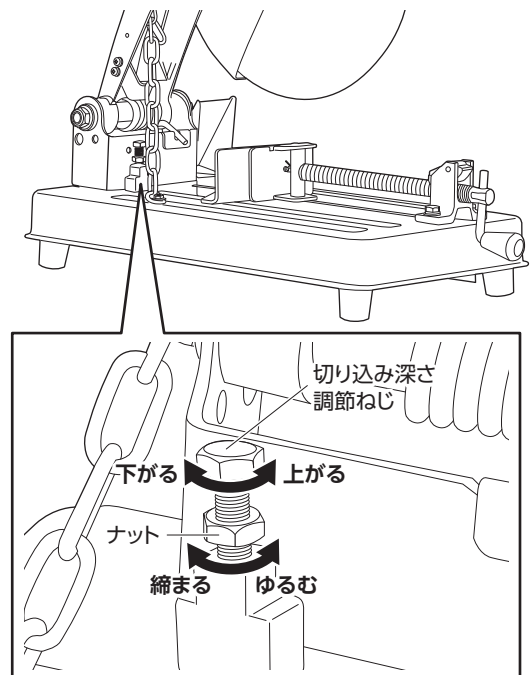
3. ホイルカバー(小)を元の位置に戻して蝶ねじ(2か所)で確実に締めてください。



各部の調節

切り込み深さの調節

- ハンドルを下まで押し下げたときに、砥石が下がりすぎたり上がりすぎている場合は以下の手順で切り込み深さを調節してください。
1. チェーンをフックから外し、ハンドルを上げてください。
 2. 付属のメガネレンチで切り込み深さ調節ねじ下部にあるナットをゆるめてください。
 3. 切り込み深さ調節ねじの高さを調節してください。調節ねじが上がると切り込みが浅くなり、下がると切り込みが深くなります。
 4. 高さが決まったら切り込み深さ調節ねじが動かないよう注意して、下部にあるナットをしっかりと締め付けてください。

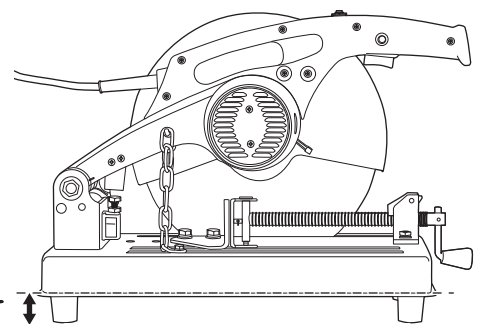


⚠ 注意

- 砥石の取付け後、電源プラグを抜いた状態で本体を振り下げた際、床などに砥石が当たらないことを確認してください。

⚠ 要確認

床に砥石が当たらないように



プロテクターが作動した場合

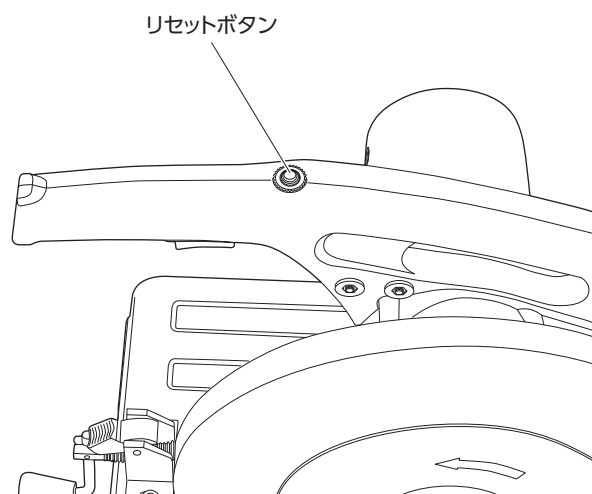
本製品は電圧降下が起きたときや、本体に不具合(故障・破損等)があった場合、モーター保護のためにプロテクターが作動し、運転を停止します。

プロテクターが作動した場合は、スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてから、以下の項目を確認して原因を取り除いてください。

- 同一のコンセントで他の電動工具及び電気製品を使用していないか。
- 通気孔付近に物がいないか。また、通気孔を布などで覆っていないか。

■復旧作業手順

- 1.原因を取り除いた後、本体を熱のこもらない場所で十分に冷ましてください。
- 2.冷めたことを確認してリセットボタンを押してください。
- 3.電源プラグをコンセントに差し込み、再度スイッチを入れてください。



上記の手順で復旧作業を行っても起動しない場合や、すぐにプロテクターが作動してしまう場合には本体の故障が考えられます。その場合は直ちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて使用を中止し、お買上げの販売店に修理をお申し付けください。又は(株)高儀「お客様相談窓口」(ホームページ含む)に相談してください。

使い方(続き)

固定バイス

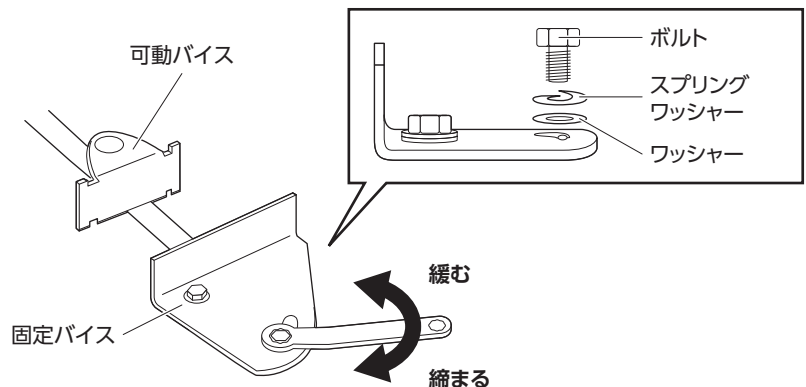
⚠ 警告

- 固定バイスを移動させた場合は必ずボルトを確実に締め付けてください。作業中にバイスが動くと大変危険です。

■ 固定バイスの移動方法

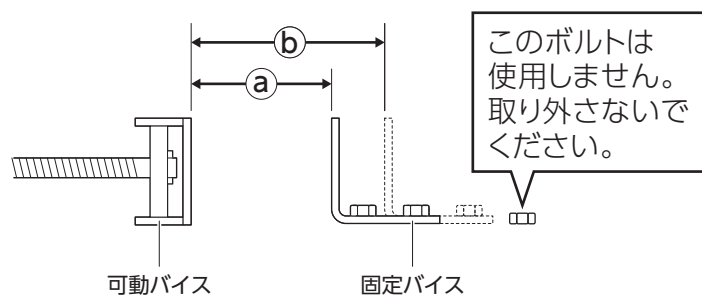
固定バイスを移動することにより、開き幅を2段階に調節できます。

付属のメガネレンチで固定のバイスのボルト(2か所)を外し、加工物のサイズにより最も適した位置に移動し、ボルト・スプリングワッシャー・ワッシャーで確実に取り付けてください。



■ バイスつかみ幅

- ① 約0～160mm
- ② 約30～195mm

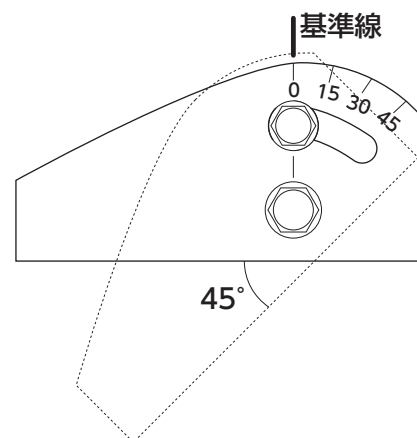


角度切り

固定バイスのボルト(2か所)を付属のメガネレンチで緩め、角度目盛りを参考に基準線に合わせ、ボルトを確実に締めてください。

傾斜角度…右0～45°

※角度目盛りは参考値です。



加工物の置き方

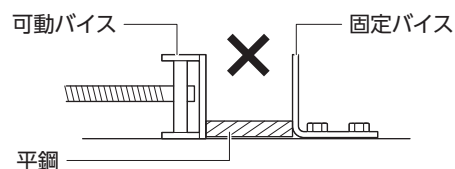
⚠ 警告

- 砥石を回転させたまま加工物の取付け・取り外しをしないでください。
- 加工物は、本体付属のバイスで確実に固定してください。
- 加工物はベースにしっかりと付いた状態にしてください。
- ベースに固定できない小さなものの切断は、危険ですのでしないでください。

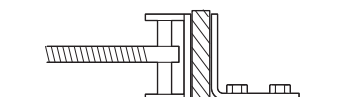
■平鋼

⚠ 注意

- 平鋼を右図のように固定しないでください。
バイスから外れけがの原因になります。



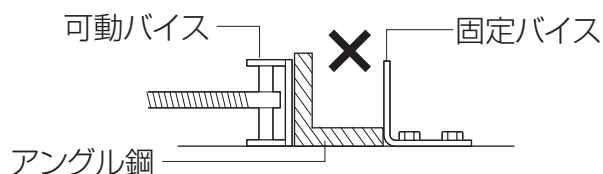
右図のように平鋼を固定してください。
(P.19 [加工物の固定方法](#) 参照)



■アングル鋼・チャンネル鋼

⚠ 注意

- アングル鋼を右図のように固定しないでください。
バイスから外れけがの原因になります。



アングル鋼・チャンネル鋼は下図のように固定してください。
(P.19 [加工物の固定方法](#) 参照)

アングル鋼		チャンネル鋼

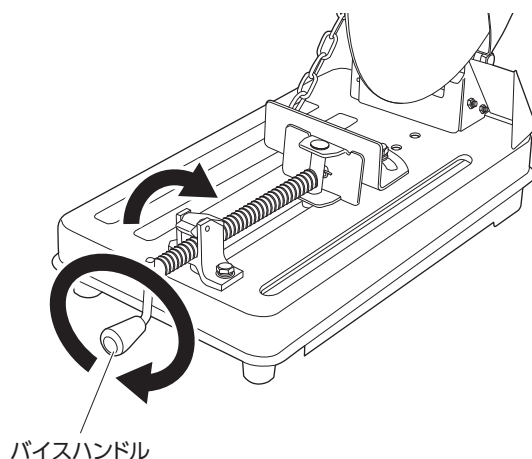
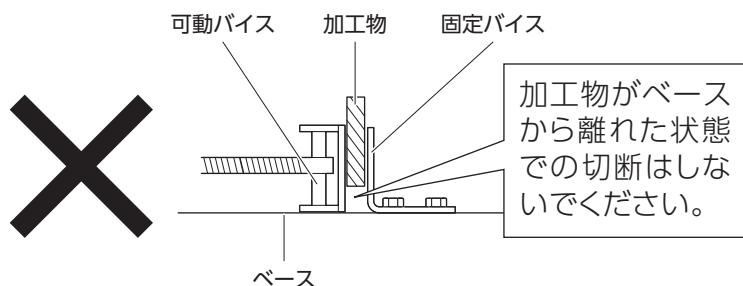
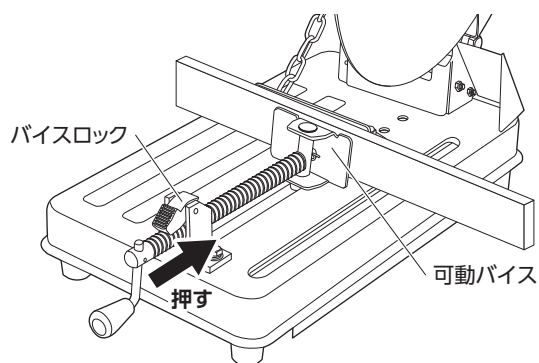
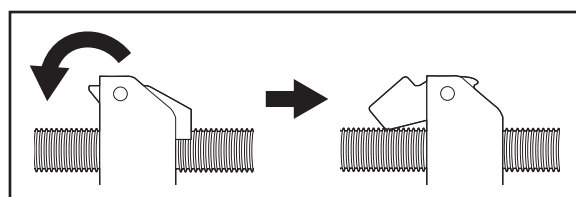
使い方(続き)

加工物の固定方法

1. 加工物のサイズ、希望の切断角度により、適切な位置に固定バイスを移動・調整してください。(P.17参照) 調整後、可動バイスと固定バイスの間に加工物を挟んでください。バイスロックを上げてから可動バイスを押して移動します。

2. 加工物を確実に固定するために加工物に可動バイスが当たったら、バイスロックを下げてバイスハンドルを右に回して確実に締め、加工物が動かないことを確認してください。

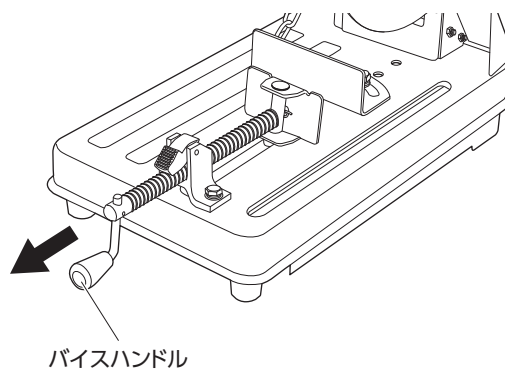
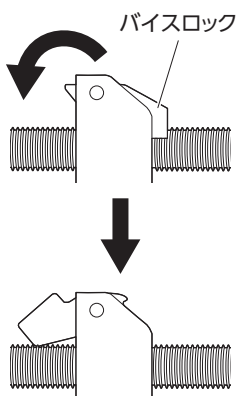
※加工物はベースにしっかりと付いた状態にしてください。



バイスの外し方

切断作業が終了したらバイスハンドルを2～3回左に回して緩めバイスロックを上に向けてからバイスハンドルを手前に引いてください。

① バイスハンドルを2～3回緩め ② バイスハンドルを引く
た後バイスロックを上げる。



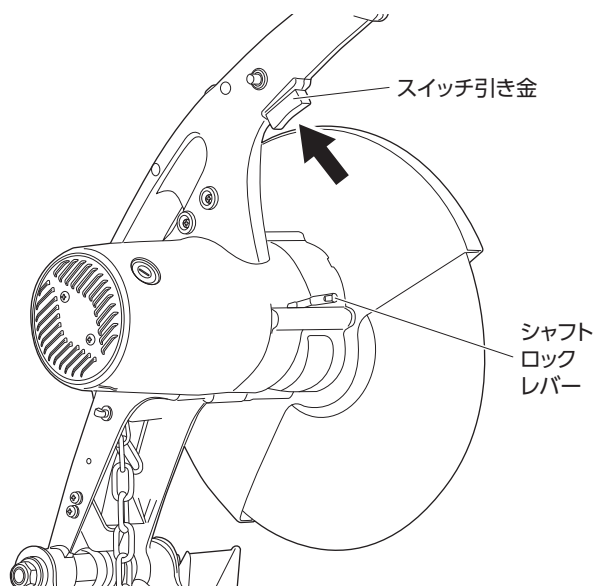
操作方法

⚠ 警告

- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずスイッチ固定ボタンが解除になっているか確認してください。
- シャフトロックレバーが完全に外れていることを確認してください。
- 大変危険ですので作動している状態のまま放置しないでください。
- スイッチ固定ボタンは、必要以外の場合は必ず解除してください。

スイッチ引き金について

スイッチ引き金を引くと「ON」
スイッチ引き金を離すと「OFF」



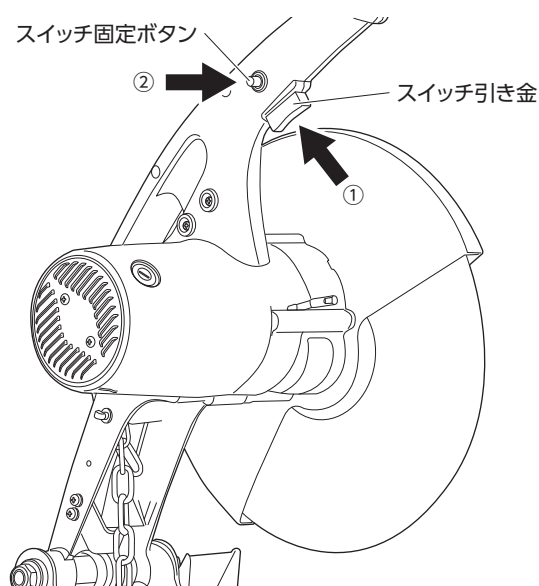
スイッチ固定ボタンについて

スイッチ引き金を引いた状態のまま固定させます。

- ①スイッチ引き金を引いたまま
- ②スイッチ固定ボタンを押します。

■解除方法

再度スイッチ引き金を引くと解除されます。



使い方(続き)

作業方法

警告

- 作業中は必ず保護めがね・保護マスク・防音保護具を着用してください。
- 砥石に割れや異常が無いことを確認してから使用してください。また、使用中に異常が発生した場合は、直ちに使用を中止してください。
- 必ず試運転をしてから作業してください。
- 作業は砥石の回転が完全に上昇し、安定したことを確認してから行ってください。
- スイッチを入れるときは、砥石が加工物などに接触していないことを確認してください。接触している状態でスイッチ引き金を引くと、砥石の破損・けがの原因になります。
- 切り落とした加工物・切削粉は高温になりますので、素手で触らないでください。
- 油などを付けて切断しないでください。
- 切断中は多量の火花、切削粉等が飛びますので、やけど・けが・火災等に注意してください。
- ハンドルを急激に押し下げて、砥石を加工物に強く当てないでください。
砥石の回転が止まった状態のままスイッチ引き金を引き続けると、短時間でモーター故障の原因となります。

注

- 火花が一番多く出る状態が、切断砥石やモーターに無理がかからず一番能率良く切断できます。無理に押し付けると作業能率が悪くなるばかりかモーター故障の原因となります。
- 切断時間が1分以上かかる場合は、途中で切込みを止め10～20秒無負荷で運転して、モーターを冷却しながら作業してください。

1. 本体を平らで安定した場所に設置してください。
2. 加工物をバイスにしっかりと固定してください。
3. 砥石を加工物から離してスイッチ引き金を引いてください。
4. 砥石の回転が完全に上昇し、安定したことを確認してからゆっくりとハンドルを押し下げて、切断を開始してください。
5. 切断作業が終わったらスイッチを切り、砥石の回転が完全に停止してからハンドルを持ち上げてください。
6. 加工物を熱に注意しながらバイスから取り外してください。

お手入れと保管方法

警告

- お手入れのときは必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。また、作業後は熱を持っていますので、冷めるのを待ってから行ってください。
- 故障・異常時は直ちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、作業を中止してお買上げの販売店にお申し付けください。又は(株)高儀「お客様相談窓口」(ホームページ含む)に相談してください。

本体について

■各種ねじの点検

- 各種ねじに緩みがないか定期的に点検してください。もし、緩んでいるねじがありましたらしっかりと締め直してください。

■清掃

- 製品に油やグリスが付着した場合はやわらかい布で、から拭きしてください。
- ワックス・アルコール類・シンナー・ベンジン等はしないでください。また、水をかけての丸洗いはしないでください。(破損・故障の原因)
- 汚れの著しい場合は、薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。

■保管

- 保管の際はハンドルを下げた状態でチェーンをフックに引っ掛けてください。
- 使用しないときは、直射日光の当たらない・風通しの良い・乾燥した・お子様の手の届かない安全な場所、又は鍵のかかる場所にきちんと保管してください。
- 本体を温度が50℃以上に上がる可能性のある場所(使用中の暖房器具の付近・車中・直射日光下)に保管しないでください。

切断砥石について

切断砥石は消耗品です。交換の目安は切断砥石の直径が約150mm～200mmくらいで交換するようにしてください。

※切断砥石の交換時は、亀裂の有無を確認し、亀裂の入っているものは絶対に使用しないでください。

※切れ味が悪くなったものを使用するとモーターに無理をかけることになり、能率も落ちますので早めに新品と交換してください。

お手入れ(続き)

カーボンブラシの交換方法



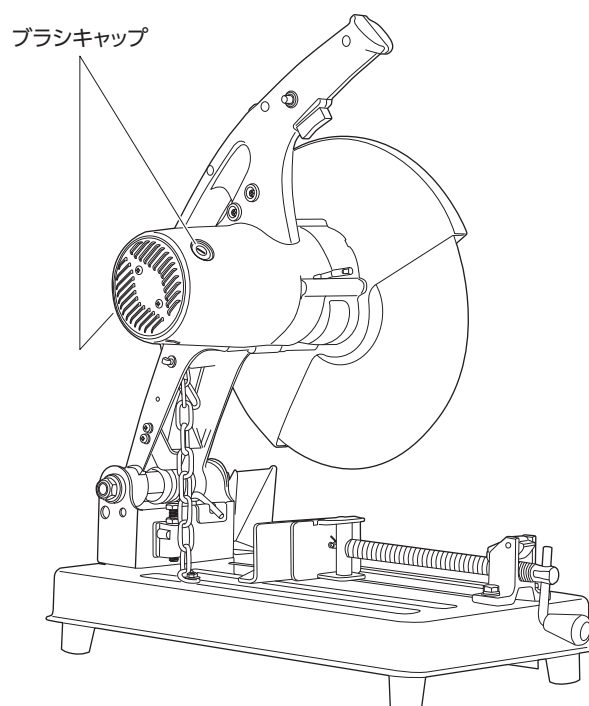
- カーボンブラシは2個で1組となっています。取り替える場合は、必ず2個同時に行ってください。
- 交換用カーボンブラシのお買い求めは、お買上げの販売店にお申し付けください。又は(株)高儀「お客様相談窓口」(ホームページ含む)に相談してください。

1. ブラシキャップを⊖ドライバーなどで取り外し、中のカーボンブラシを取り出してください。

2. カーボンブラシをチェックし、約6mm以下に摩耗していれば交換してください。



3. カーボンブラシをチェックした後は、元のようにセットし、ブラシキャップをしっかりと取り付けてください。



MEMO

[illegible]

MEMO

[illegible]

MEMO

[illegible]

保証書

販売店名・お買上げ年月日を証明できる物(販売証明書やレシート等)が添付されていない場合、本書は**無効**となり、保証期間内であっても有料修理となります。必ずご確認ください。

- 保証期間内において取扱説明書などの注意書に従い、正常な使用・保管状態で故障した場合、本書により無償で修理致します。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合には、製品と本書に販売証明を付けた物をご持参のうえ、お買上げの販売店にご依頼ください。

品 名		EARTH MAN 高速切断機 305mm		お買上げ日	年	月	日
型 式		CS-30B	JAN コード	4907052 553033	保 証 期 間	お買上げ日より 6 か月	
販売店	販売証明書や レシート等を 添付してください。						

保証規定

- 保証内容は本製品自体の無償修理に限ります。
保証期間内におきましても、その他の保証はいたしかねます。
- 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - 使用上の誤り及び不当な修理・改造による故障及び損傷。
 - お買上げ後の輸送・移動・落下等による故障及び損傷。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災・異常電圧による故障及び損傷。
 - 家庭用以外(例:業務用の長時間使用、車輛・船舶への搭載等)に使用された場合の故障及び損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書に販売店名・お買上げ年月日を証明できる物が添付されていない場合、あるいは字を書き換えられた場合、個人販売など販売店が不明な場合。
- 本書は付属品・消耗品には適用されません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は最初の購入にのみ適用され、以降の転売・譲渡には適用されません。
- この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店又はホームページからお問い合わせください。
 - 修理可能な場合は、お客様のご希望により有料で修理させていただきます。
- 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、基本5年間保有しています。※
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
※製造部品によっては5年間保有できない場合もあります。

発売元  株式会社 高儀

株式会社 高儀 お客様相談窓口

※修理(見積り含む)・部品購入は、お買上げの販売店又はホームページからお問い合わせください。

TEL 0258-66-1233

受付時間 AM9:00～PM5:00(土日及び弊社休日を除く)

ホームページ:

<http://www.takagi-plc.co.jp/>



■お客様相談窓口における個人情報の取扱い

弊社は、お客様へのサービス提供のため、収集目的を通知したうえで必要な範囲の個人情報や相談内容を収集させていただき、その記録を残すことがありますが、個人情報を適切に管理し、修理業務などのサービスを行うために必要な範囲内で開示する場合や、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。